

蘇州優科豪馬輪胎有限会社 CSRLレポート

事業内容: トラック・バス用タイヤの製造
敷地面積: 79,000m²
従業員数: 約410人(2013年5月現在)
所在地: 中国 江蘇省蘇州市高新区華橋路158号

相談・苦情などの受付窓口:

管理部 TEL: 0512-6818-1008 FAX: 0512-6818-1007
 メールアドレス: zhe_wu@cszy.yokohamatire.com



社長ご挨拶



森本 剛央

当社は「東洋のヴェニス」と称される蘇州市で、2008年から生産を始めています。また、2011年に環境マネジメントシステムISO14001、2012年には安全衛生マネジメントシステムOSHMSを取得しこれらのシステムの下、工場運営をしています。当社も2012年10月に第1回「千年の杜」プロジェクトで3,700本の植樹を実施しました。この活動は従業員のみならず地域の方々や行政の方々にも積極的に参加していただくとも

に当社の位置する蘇州市高新区の環境局からも大きな評価を得ています。本年もこの活動と共に、2012年度から開始した工場周辺の環境保護活動(清掃活動)についても全員参加を合言葉に継続実施して地域の皆様に愛される企業となるよう努力していきます。また、工場の生産活動から発生する産業廃棄物の削減および省エネ活動にも積極的に取組み、環境負荷の低減に貢献していきます。当社のビジョンである「従業員と地域社会にとって魅力ある企業になる」を達成すべく皆様から愛され、信頼される企業となるようこれからも事業活動を進めていきます。

安全健康な職場環境

労働安全衛生(安全衛生方針、安全衛生への取り組み)

標語 : 我的安全, 家人的幸福。(私の安全は家族の幸せです。)

方針主旨 : 従業員および構成員での安全と健康の確保が企業活動の基盤である事を認識した上、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の運用により、一人一人が安全を全てに優先させ、管理監督者(班長以上)のリーダーシップと皆の努力で、労災を防止することと快適な職場を実現すること及び健康管理をすることを目指します。

従業員の教育・訓練

OSHMSのマネジメントシステムに従い従業員の教育・訓練・力量の評価を実施しています。全員への周知・徹底を図るため毎月各シフト1回/月の安全朝礼を実施しています。また、毎年6月を安全の強化月間として、全員参加のさまざまな取り組み(安全OPLコンテスト、KYT演練コンテスト等)を通じて、従業員の安全意識レベルの向上に努めています。

災害時の対応

けが : 職場ごとの災害救助訓練(毎月)

火災等 : 年一回の全体避難訓練および消火訓練
 上記の活動を通じて、実際の災害対応に備えています。



一対一教育



総経理安全朝礼



避難訓練



KYT



災害救助訓練



消火訓練

環境マネジメント

環境方針を設定し、環境保護関連の法律・法規を執行して、資源節約し汚染を予防しています。地域社会から信頼される工場になるために、環境マネジメントシステムISO14001を運用し、環境改善を継続的に進めます。

環境データ

項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
廃棄物発生量(t)	504.0	431.4	438.7	334.2	
埋立率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	4,165	4,932	5,517	4,672
	燃料	2,020	2,325	2,556	2,047
	合計	6,185	7,257	8,083	6,719
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	13.0	15.3	17.0	14.2	
水使用量(千m ³)	92	149	124	90	

※年度:1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

化学物質の管理状況についての報告 (PRTR法への対応)

中国の法律に基づいて作成した工場の化学物質管理規則に従い、管理をしています。

騒音、振動、臭気について

地域行政の規定に従い2回/年の測定を実施しています。2013年は、4月26日に一回目の測定をしました。次回は10月に計画しています。

製品・サービスの安全と品質

消費者とのコミュニケーション

市場調査への参加および工場見学のお客さまから情報を収集し、お客さまのニーズにあったより良い製品を供給できるようにコミュニケーションを深めています。

苦情などへの対応

販社を通じていただいたクレームを現物確認し、原因調査をした上で、適時、書面を通じて回答をしています。
一般クレーム品の場合は2週間内に報告を作成し迅速な対応を取るとともに、再発防止の展開をしています。改善の進捗状況については関連部門へ市場品質フォロー会場で報告を実施して効果の確認を行っています。

人権・労働慣行

人権教育

2013年以来、年に2回教育するように計画しています。
4月22日に初回教育をしました。次回は7月にする予定です。

障がい者雇用

障がい者雇用(全従業員の1.5%)については毎年、基準を満たしています。

男女平等の推進

従業員の募集・処遇等、性別の区別はありません。

取引先との信頼関係

汚職に関する方針

横浜ゴムグループ社員「行動規範」を遵守します。

- (1) 社会的に有用な商品・サービスの提供、お客様の満足と信頼の獲得
- (2) 公正、透明、自由な競争、適正な取引
- (3) 企業情報の公正の開示
- (4) 従業員のゆとりと豊かさを実現
- (5) 環境問題への積極的取り組み
- (6) 「良き企業市民」として
- (7) 会社の財産、情報の保護管理
- (8) 国際協調、現地の発展に貢献

サプライヤーから横浜ゴムへの要望や意見

サプライヤーをデータベース化して、評価とともに、要望や意見を吸い上げるよう改善を進めています。

関係者を集め、法律、中国事情等の説明し、教育をしています。



地域社会とのかかわり

2008年から毎年どんぐり拾い、苗の育成を進めてきて、2012年10月に千年の杜植樹祭を行い、3,700本を植樹しました。2013年に4,000本を植えるように計画しています。



2012年から工場周辺の環境保護活動（清掃活動）を始めて、現在1回／2カ月の頻度で進めています。



環境関連について、2012年に清潔生産、エネルギー管理、省エネ、水の再利用に力を入れて活動しました。これらの活動が行政に評価され、計4つの賞を受賞し、省エネスターの「三星企業」に評定されました。

工場見学・説明会のご案内

工場見学については、「来客受付規則」に従って、管理部で随時受け付けています。



コンプライアンス教育

行動指針として「各人が役割・責任・権限を自覚し、適確に行動する」ことを2013年度の総経理方針にしています。

現状の仕組みをさらに改善して全員に教育と周知をしていきます。

汚職を予防するための方針

人材のローテーションおよび、もの・情報・金の流れの見える化を進め、異常がすぐに判断できるよう改善をしています。